

# 堺自然ふれあいの森

## ニュースレター 第28号

発行：平成26年3月 OSS・EPRグループ(指定管理者)

### ●ふれあいの森20万人ご来園者達成記念イベント(平成25年9月28日)

#### イベント報告

平成18年4月2日にふれあいの森が開園し、およそ7年半で来園者数が20万人に達したことを記念して、イベントを開催しました。この日はNPO法人いっちゃんクラブ指導のもと89名の方が木の実を使ったオリジナルのクラフトを作られ、15時の終了まで人が途切れることはありませんでした。

また、幼児向けと一般向けのガイドウォークもそれぞれ3回ずつを行い、森の植物や生きものに興味を持つていただけるよう参加者に解説しながら森の中を案内し、合計93名の方に参加していただきました。この日は記念品として、いっちゃんクラブが手作りしたオリジナルブローチを来園者の方々にお渡ししました。ネザサを切って作った可愛いフクロウの姿に皆さん大変喜ばれていました。



◀ 記念式典



ガイドウォーク ▶

### ●収穫祭 (平成25年12月21日)

冷たい雨が降る中、52名の方に参加いただき、3班に分かれ、お餅つき、森の生きものクイズ、ドングリの種まきを体験していただきました。雨による急なプログラムの変更などもありましたが、参加者からは「田植えや稻刈りをしたもち米を、自分でついたお餅の味は格別！」との声が聞かれ、皆さん充分満足されたようです。参加者はスタッフも含めて100名を超し、里山の恵みを楽しむことが出来た1日となりました。



▲ 餅つき体験



#### ポイントガイド「コナラの丘」

森の館から徒歩5分ほどの「コナラの丘」では、春はチョウ類やタンポポやゲンゲなどの草花、夏はバッタ類やカエル類、秋はコオロギ類やコナラやシリブカガシなどのどんぐり、冬はルリビタキなどの野鳥が観察でき、四季折々の自然を気軽に楽しむことができます。

また、とても日当たりがよく、お天気が良ければ冬でもポカポカと暖かいほどなので、特に小さいお子さまが草花で遊んだり、自然観察をするのにおすすめです。



#### 第7回里山保全ボランティア養成講座

平成25年5月～10月に「第7回里山保全ボランティア養成講座」を開催し、17名の受講者が全6回の講座を受講しました。

この講座では、里山の保全や自然の動植物に关心を持つ方を対象に、NPO法人いっちゃんクラブ、大阪府立大学の増田教授や平井准教授にご協力いただき実施しました。月に一度行う講座では、それぞれ樹林管理や農作業、生物調査や自然工作など、当園での活動を座学と実習を交えて行いました。それにより、受講者は一層理解を深めることができ、「改めて里山の大切さを感じた」「期待以上に興味深い講座で、里山を身近に感じ、保全への关心が高まった」など、身近な堺の自然の大切さを実感していただけたようです。また、実際に活動している方からお話を聞くことで、里山保全活動に対する意欲も増し、講座終了後はNPO法人いっちゃんクラブに入会するなど、積極的に里山保全に取り組んでいます。



# 小さな子どもも自然と遊び

堺自然ふれあいの森では、小さなお子様が自然と触れ合えるきっかけ作りと、自然体験を通して生きものの面白さを知ることを積極的に進めています。年間を通して様々な自然体験プログラムを実施している他、堺市内の保育士を対象にした研修プログラムや、保育園・幼稚園の受け入れも行っています。

1才～3才対象 (毎月1～2回)

## 森のほっこりタイム

テーマは…「お子様のペースで自然体験」



他にも色々なイベントやっているよ

HPや  
チラシでみてね

冬になると、森の中は落ち葉で  
カカフカになります。落ち葉  
を集めてベッドをつくり、落  
ち葉ピールの中で飛び込んだり、顔  
に見える葉っぱを探したりして遊び  
ます。落ち葉をめぐると、冬越し  
している虫たちにも出会えます。

冬の森であそぼ

## 保育士研修会

堺市内の保育士を対象にした研修会を、定期的に開催しています。園児に人気があるダンゴムシや蝶、ドングリなどの身近な素材を使ったプログラムを、生きもの同士の繋がりや生きものを使うときの注意点などを交えながら、実習を通して紹介しています。

また、各園への出張講座や、園庭に蝶を呼ぶバタフライガーデンの提案など、園児が毎日の活動の中で、気軽に自然と触れ合えるプログラムを提案しています。

4才～6才対象 (毎月1～2回)

## 親子で森遊び

テーマは…「親子で一緒に森遊び」

色々な事に興味を持ち始めるこの年代のお子様には、自然との触れ合いや、生きものを見察するだけでなく、生きもの同士の繋がりや、それぞれの生きものの役割などについて学べるプログラムを開催しています。また、季節の行事や昔の遊びなどを取り入れ、保護者とお子様が一緒に楽しめるきっかけ作りも行っています。



私たちの  
回には遊び道具が  
いっぱい！自然との関わり方  
や観察のポイントなどの解説を交  
えながら、親子で一緒に自然にある  
ものを使った遊びを体験します。  
公園やお庭で出来る自然遊びの  
ヒントがぎゅっと詰まつ  
た講座です。

自然遊び教室 (講座)

めへわらわ  
みーだー

保育園や子ども会、お友達グループなど、10名以上であれば、団体として専用のプログラムを体験していただけます。レンジャーが森を案内したり、クッフトやさき火、草木染めなどのプログラムを、年齢や目的等に合わせて実施しています。特に保育園は、専門のプログラムを作成し、「森の学校」として園児の年齢に合わせた自然体験プログラムを実施しています。

## 団体受入れ

H25年度

# 森の整備実施報告

平成25年11月13日に堺市、指定管理者、NPO法人いっちゃんクラブ、大阪府立大学の4者で整備状況の確認と今後の整備方針について協議しました。活用ゾーン内の整備についで大きな変更はありませんが、尾根みちから西側一帯の保護ゾーンの整備について今後検討していくことを確認しました。



### 1 広場の新設 (ヤマモ広場・ツツジの広場)

尾根みち上に新しい広場を2箇所新設しました。間伐した木で作ったベンチを設置しましたので、腰を掛けたりと野鳥の声や色とりどりの木々を楽しむことが出来ます。



▲ヤマモ広場 ▲ツツジの広場

### 2 散策路の整備

園内の散策路や階段は全てボランティアの方々が手作業で整備しています。大雨や台風のあとは崩壊している箇所が見つかることが多く、来園者の妨げにならないよう早急に修復しています。



### 3 カスミザクラのみち沿いの林床整備

カスミザクラのみちと奥池の間は「雜木林6」と呼ばれるエリアで、林床が明るい雜木林を目指して整備しています。今年度は林床を覆っているシダを刈り払い、地面にまで光が届くように整備しました。



# コラム

## 「 幼児教育における自然体験 」

社会福祉法人堺ひかり会 登美丘西保育園 園長 大仲美智子

当保育園は堺市東区大美野という閑静な住宅地にあり、近くには南海高野線北野田駅の高層マンション群があります。地域の自然と言えば歩道の街路樹や公園で、とうてい豊かな自然に囲まれていると言えない環境で、子ども達は毎日を過ごしています。

そんな中、年2回の春と秋の遠足は、できるだけ自然と関わりを持てるように府立の大きな公園に行き、自然の中を歩くことと、園にはない大きな遊具で遊ぶことに各々ねらいをおいて楽しく過ごしてきました。しかし、2010年の秋からは、ふれあいの森に春は4・5歳児、秋は3・4・5歳児で毎年訪れるようになりました。

当園は2010年度から乳幼児期の環境教育の観点から「自然が大好き、大切にしたい」と思える子どもを育てる為の保育実践研究に取り組み始めました。この実践研究をきっかけにして、遠足では子どもが自然に関わることを主にして、遊具で遊ぶことをねらいにするのを止めました。ふれあいの森のPRを聞き、近くに園のねらいに添った森があることに気づき訪問したのが始まりです。そして、子ども達は初めての時は遊具の無い事に戸惑いはしたもの、徐々に自然の中で遊ぶ力を身につけてきました。その姿を紹介いたしますので成長と一緒に感じてみてください。

初めての秋、どんぐりをポケットにいっぱい入れて、持って帰ったがる子どもがたくさんいました。自分が見つけたのだから自分の物という考えです。2年目、3年目は他に遊びに来る人達も欲しいからと、1つだけ持つて帰ることで満足できるようになりました。自分と違う他人を気遣う気持ちが育ってきました。今年は、レンジャーさんが「1つは良いよ。」と言ってくれていると保育者が言いましたが、動植物は見たり触ったりするのは良いけれど、元の場所に戻してあげることが動植物にとって一番良いことだと理解していく、持つて帰ろうとしません。もちろん普段の園生活でも実践は重ねていますので、自然は大切だから取つて帰ってはいけないと考えている子どもが多くいます。引率している私達は、ふれあいの森で「持つて帰らない。森がかわいそう」という子どもの姿の変化を実際に目の当たりにして大変感動致しました。

また、レンジャーさんについてもらい観察しながら道を歩いたり、広場で遊んだりするのですが、最初はなかなか一見何も無いところでは遊べませんでした。今ではバッタやコオロギ等を見つけると持ってきた透明パックの入れ物に入れて、友だちと輪になり観察したり、植物の葉の形、色の違い、名前を知ったり、草花や葉を利用しての遊びなど時間が足らない程充実して過ごしています。これにはレンジャーさんの協力の元、豊かに遊べることに感謝しています。

保育者の方も自然と関わらず育った者が多くいますが、子どもと共に学んで自然を大切にしていきたいと考えています。将来、地球環境を考え生きる大人に成長して欲しいと、大きな希望を持って取り組んでいます。



●○●○●○●○ お問い合わせ ●○●○●○●○

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畠1740番地

TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811

ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>

発行: 堀自然ふれあいの森 OSS・EPRグループ(指定管理者)

※ OSS・EPRグループは、大阪ガスコミュニティライフ株式会社・株式会社生態計画研究所の連合体です。

### 交通案内

お車の場合は  
「堺公園墓地」を  
を目指してお越し下さい。

